

ソナレノギク

学名 *Heteropappus hispidus* (Thunb.) Less. subsp. *insularis* (Makino) Kitamura

目名

目名学名

科名 キク科

科名学名 Compositae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

四国・九州の一部に分布する。本県では当該地の海岸にみられ、日当たりのよい路傍などに多い。道路拡張や草刈りなどにより、消滅や生育環境の悪化が懸念される。

県内分布	豊後水道域,豊後水道後背地域
分布域	四国,九州(大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	海岸路傍や崖地。
現状	「豊後水道域」の半島や沿海地の海岸崖地や路傍に生え,しばしば群生するが,人里に近い所では草刈りなどで衰退している。
備考	国立・国定公園指定植物[瀬戸内海,日豊海岸]。ヤマジノギクの茎などに毛のない亜種。